

各位

会社名 株式会社グローバルウェイ
 代表者名 代表取締役社長兼 CEO 小山 義一
 (コード番号: 3936)
 問い合わせ先 取締役 CFO 新井 普之
 TEL. 03-5441-7193

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年5月13日に公表しました2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日）の通期業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想の修正

2023年3月期 通期連結業績予想の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,200	70	70	70	1.92
今回修正予想 (B)	2,000	△450	△450	△200	△5.49
増減額 (B - A)	△200	△520	△520	△270	—
増減率 (%)	△9.1	—	—	—	—
(参考) 前期連結実績 (2022年3月期)	1,816	136	446	419	11.78

2. 修正の理由

当社グループを取り巻く環境は、DX市場においては、引き続きクライアントのDX推進に向けたシステム投資が見込まれる一方でDXを推進する企業の約半数がそれを担う人材不足を課題としており、人材市場においては、コロナ禍の影響で一時的に人材紹介市場が落ち込む一方、フリーランスとして働く人口は増加しております。

そのような環境の中、プラットフォーム事業及びセールスフォース事業ではクライアントのDX推進を支援するとともにエンジニアの採用及び育成によりケイパビリティ拡大に取り組み、メディア事業においては掲載企業数や企業研究レポートの増加を通じた媒体力の強化に取り組み、リクルーティング事業においては採用企業と転職希望者の両面へのコンサルティング力の強化に取り組んでおります。シェアリングビジネス事業においてはユーザー数の獲得と活性化に取り組んでおります。

当連結会計年度において、当社は、セールスフォース事業では、第2四半期から第3四半期にかけて一部案件で納品したシステムの不具合対応により採算が悪化したことからセグメント利益で50百万円減少する見込みで、メディア事業では、前期に収益モデルを成功報酬型から一定期間の履行型に変更したものの販売推進体制の整備の遅れから収益の立ち上がりが遅れていることから売上高で130百万円、セグメント利益で100百万円減少する見込みであります。子会社で展開しているシェアリングビジネス事業では、2022年7月に第三者割当増資で調達した503百万円をもとに集客や利用活性化の蓋然性を図るためのマーケティングの実施やシステム改修などに取り組んでおりますが、売上高増加には時間を要していることから売上高で70百万円、セグメント利益で400百万円減少する見込みであります。一方、人員配置の見直しなどで全社費用が30百万円減少する見込みであります。

これらの結果、2023年3月期における連結業績予測は、売上高2,000百万円、営業損失450百万円、経常損失450百万円、親会社株主に帰属する当期純損失200百万円と、前回の予想を下回る見込みであります。

なお、2022年6月10日に開示いたしました「事業計画及び成長可能性について」における2024年3月期以降の目標数値については、今後、修正が必要と判断した場合、速やかに開示いたします。

※本資料に記載されている業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる可能性があります。

以上